

明治三十六年五月二十三日

警 察 部 長

市内各警察署長宛

(五八)檢發第九十三號

今般訓令第八十九號ヲ以テ「ペスト」病毒根絶ヲ期スヘキ旨訓令相成候處此際市内一般ニ清潔方法施行ノ必要ヲ認メ其旨市内各警察署長ヘ示達致置候ニ付テハ傳染病豫防法施行細則第四十七條ニ依リ當該警察署長ヨリ指示可致筈ニ付速ニ施行相成候様致度此段及照會候也

明治三十六年五月二十三日

警 察 部 長

横濱市長宛

(五九)示令第五十九號

交通遮斷區域内消毒方法左ノ通り之ヲ定ム

明治三十六年五月二十六日

檢 疫 委 員 長

交通遮斷區域内消毒方法

第一 其日ヨリ殺鼠劑及捕鼠器ニテ鼠ノ驅除ヲ行フコト但患家ヲ除クノ外人民ニ於テ好マサルトキハ強テ配布セサルコト

第二 患家ノ消毒ヲ急速ニスルトキハ却テ鼠ヲ四方ニ逃竄セシメ病毒ヲ弘播スルノ虞アルニ付第一項ニ依リ驅鼠ヲ行ヒ及四方ヲ圍障シ逃竄ヲ防クノ方法ヲ爲シタル後ニアラサレハ消毒セサルコト

第三 消毒ノ施行ハ病毒ヲ避キ部分(即チ患家ヲ巨ルコト最モ遠キ場所等)ヨリ始メ漸次病毒ノ濃厚ナル部分ニ及ホスコト

第四 交通遮斷ノ圍障ニ鼠ノ逃走シ得サル様充分嚴重ニスルコト

- 一、下水口ハ金網ニテ之ヲ塞クコト
- 一、土中ノ鼠穴ニ注意シ之ヲ塞クコト

第五 家屋物置等ハ先ツ其建具器物其他移動シ得ヘキ物品全部ヲ屋外ニ搬出シタル後消毒ニ着手スルコト

第六 家屋倉庫其他建物ノ天井床板羽目流シハ全部取外シノ上消毒スルコト

但天井及床板ハ其構造ニヨリ消毒上少モ差間ナキトキハ全部ヲ取外サ、ルコトヲ得

第七 建物ヲ一部宛消毒スルトキハ鼠ハ假令ハ階上ヲ消毒ノトキハ階下ニ潜伏スル等ノ虞アルニ付第五項第六項ヲ終リタル後全部同時ニ着手シ消毒ノ際ハ鼠ヲシテ潜伏ノ場所ナカラシムルヲ要ス

第八 建物ハ可成一棟又ハ數棟宛第七項ノ方法ニ依リ消毒ヲ施行スヘシ

鼠潜伏ノ虞ナキ場合ノ外ニ棟ヲ分テ施行モ並ルコト

第九 家屋消毒ノ場合ハ家人ヲシテ可成其家ニ居ラシメサルコト

但第五項ノ搬出補助ヲ爲サシムルハ差間ナシ

第十 木造ノ下水樋ハ總テ其樋及周邊凡ソ一尺ノ土ヲ掘起シ鼠又ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シテ後石灰乳ヲ以テ之ヲ消毒スルコト

第十一 患家ノ床下物置等ハ床土ヲ掘起シ鼠又ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シテ石灰乳ニテ消毒スルコト

但床下等ノ堅固ナルコトヨリ多ク掘起シ及ハニセヨシトシタタキ等ニシテ鼠侵入ノ虞ナキモノハ此限ニアラス

第十二 患家ニアラスルモ土中ノ鼠ノ穴居セルト疑ハラレ、場所無分ハ米屋及穀物倉又ハ鼠族ノ土穴アル場所等ハ前項同ノ消毒ヲナスコト

第五章 令達通牒

第五章 令達通牒

五百十八

- 第十三 前二項ノ掘起ハ土質等ニ依リ斟酌スヘキモ凡ソ一尺乃至二尺タルコト
- 第十四 藁葺茅葺屋根ハ鼠ノ巢居又ハ通行シタル虞レナキモノ、外ハ一切取除キ焼却スルコト
- 第十五 木板葺、瓦葺屋根ハ鼠ノ棲息又ハ通行ノ虞アル部分ヲ取外シテ消毒スルコト
- 第十六 第十四項十五項ノ場合及第六項ノ施行ニ依リ著ク建物ヲ毀損スル場合ハ所有者ノ承諾又ハ市町村等ニテ賠償ノ約成立スルニアラサレハ着手スヘカラス
- 第十七 交通遮断内ノ地面ハ道路ヲ除ク外石灰乳昇汞水石炭酸水又ハ焼却法ニ依リ全部消毒スヘシ
- 第十八 井ハ石灰乳ヲ以テ消毒スヘシ

(六〇) 神奈川縣令第四十號

明治三十六年五月神川縣令第三十五號指定地域中西戸部町ノ次ニ左ノ通追加ス

知事

- 明治三十六年五月二十六日
- 三吉町 自一丁目 至五丁目
- 長者町 自一丁目 至四丁目
- 千歳町 自一丁目 至三丁目
- 山田町
- 富士見町
- 山吹町
- 不老町 四丁目
- 翁町 五丁目
- 扇町 五丁目
- 壽町 五丁目

松影町 五丁目

元濱町

北仲通

海岸通

參照明治三十六年八縣令第五十號ヲ以テ三吉町ヨリ松影町ニ至ル十一ヶ町ヲ削除ス

(六一) 神奈川縣令第四十一號

明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第四號ニ依リ本月二十六日横濱港ニ入港シタル獨逸汽船「アラゴニア」號ヨリ陸揚シタル總テノ貨物ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ消毒方法ノ施行ヲ了リタル上ニアラサレハ現在ノ場所ヨリ他ニ搬出スルコトヲ停止ス

犯シタルモノハ拾圓以内ノ罰金ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年五月二十九日

知事

(六二) 示令第六十一號

市内警察署

本日神奈川縣令第四十一號ヲ以テ獨逸汽船「アラゴニア」號ヨリ陸揚シタル總テノ貨物ハ消毒方法ノ施行ヲ了ラサル間他ニ搬出停止相成候ニ付テハ本月八日示令第八十四號ニ據リ嚴重ナル消毒方法ノ施行ヲ爲サシムヘシ

但シ米ハ包装ヲ剝離セシメ日光消毒(八時間以上)ヲナサシムヘシ

明治三十六年五月二十九日

警部長

第五章 令達通牒

五百十九

(六三)訓第一百號

其市ニ於テ「ペスト」病流行ノ虞アルニヨリ傳染病豫防委員ヲ増設シ檢疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ
但委員ノ氏名ハ當廳及市中各警察署ニ報告スヘシ
右訓令ス

横濱市役所

明治三十六年五月三十日

知事

參照明治三十七年三月十六日訓第四十三號ヲ以テ廢止

(六四)神奈川縣令第四十二號

明治三十六年五月^五神奈川縣令第三十五號指定地區域中壽町ノ下「五丁目」ノ三字削除シ千歲町ノ下「至三丁目」トアルヲ「至三丁目」ト改メ海岸通ノ次ニ左ノ通追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

知事

明治三十六年五月三十一日

永樂町 一丁目 (貨座敷指定地ヲ除ク)

真金町 一丁目 (同上)

參照明治三十六年八月縣令第五十號ヲ以テ削除ス

(六五)示令第六十三號

警察署
警察分署
檢疫官

特別消毒の清潔法施行方法左之通之ヲ定ム

檢疫委員
長

明治三十六年六月三日

特別消毒の清潔法施行方法

第一 有菌鼠ヲ發見シタル附近凡ソ一丁四方交通遮斷地ノ附近及特ニ指定サレタル場所ハ此規定ニ依リ消毒的清潔法施行ヲゴト

第二 嚙鼠發見ノ届出ヲ受ケタルトキハ先ツ其發見場所ニ對シ直ニ消毒方法ヲ行フコト
但シ乾固シタルモノハ此限ニテゴト

第三 嚙鼠捕鼠細菌検査ノ結果有菌ナルヲ確定シタル場合ニ於テハ糞旨直ニ所轄署及市役所ニ通報スルコト

第四 有菌鼠アリタル建物(其屋外ニアリタルモノハ之ニ接近セザルモノ)内ノ物件ハ豫防法第十條ニ依ルコト

第五 清潔法施行區域ハ三尺以上ノ亞鉛板ヲ以テ圍障シ圍ヲシ下水ニハ金網ヲ以テ鼠ノ逃竄ヲ防グコト

(六六)神奈川縣令第四十四號

明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第七號ニ依リ横濱市全部ニ消毒的清潔方法ノ施行ヲ命ス
前項清潔方法施行期日及施行方法ハ當該吏員ノ指示ニ依ルヘシ
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年六月四日

知事

(六七)檢發第一百十九號

横濱市内一般清潔方法施行ノ義ニ付舊月二十四日附檢發第九十三號ノ以テ及照會候處右施行上ニ關シ特ニ必要

第五章 令達通牒

相生シ本日神奈川縣令第四十四號ノ發布アリタル次第ニ有之候條此旨御了知相成度尙市内同時ニ之レガ施行ニ着手スルコトハ行ハレ難キ事實モ可有之ト存候ニ付先ツ今回患者ノ發生シタル部分其他緊急ト認ムル部分ヨリ漸次着手スルコトニ御取計相成度尤モ此旨各警察署長ニ示達致置候條此段及御通牒候也

明治三十六年六月四日

横濱市長宛

警察部長

(六八)檢發第百十九號

「ペスト」豫防方法トシテ御部内一般ニ驅鼠及消毒の清潔方法施行ノ義ニ付客月二十四日附示令第五十八號ヲ以テ御指示相成候處右施行上ニ關シ特ニ必要相生シ本日神奈川縣令第四十四號ヲ以テ横濱市全部ニ對シ消毒の清潔方法ノ施行ヲ命セラレタル次第ニ有之尤モ市内一時ニ之レガ施行ニ着手スルコトハ事實到底行ハレ難ク先ツ今回患者ノ發生シタル部分其他緊急ヲ要スル部分ヨリ漸次着手セシムル筈ニ付右御含ミノ上其施行期日並ニ方法順序等ヲ市長ニ御協議相成其結果御報告相成度此段及御通牒候也

追テ本件御施行成績ハ客月二十四日附檢發第九十三號照會ニ依リ報告ヲ要セサルニ付客年十月檢發第百九號檢疫委員長達ノ消毒の清潔法成績取調表備考欄内ニ斃鼠捕鼠ノ數及其發見場所ヲ詳記シ御差出相成度此段申添候也

明治三十六年六月四日

市内各警察署長宛(水上署ヲ除ク)

衛生課長

(六九)示令第六十四號

市内警察署
檢疫官

殺鼠劑取扱規程左ノ通り之ヲ定ム

明治三十六年六月五日

殺鼠劑取扱規程

檢疫委員
檢疫委員長

- 一 殺鼠劑ハ市役所ニ於テ之ヲ製造管理スルコト
- 一 警察署ハ市役所ヨリ殺鼠劑ノ配付ヲ受クルコト
- 一 警察署ニ殺鼠劑取扱主任若干名ヲ置クコト
- 一 殺鼠劑ヲ各戸ニ配布及聚收スルハ警察官及市吏員之ヲ行フコト
- 一 但衛生組合役員ニシテ其任ニ當ラムコトヲ欲スルトキハ警察署市役所協議之上之ヲ爲サシムルコトヲ得ル事

- 一 各戸ニ配付聚收スルトキハ警察官市吏員(衛生組合役員ノトキ亦同シ以下之ニ倣フ)ニ於テ適當ナル場所ニ之ヲ配置シ及ヒ聚收シ家人ヲシテ配置聚收ヲ爲サシメサルコト
- 一 殺鼠劑ハ毎日午後五時ヨリ九時迄ニ之ヲ配置シ翌午前五時ヨリ八時迄ニ之ヲ聚收スルコト
- 一 別紙様式ノ簿冊ヲ作り前項配置聚收及其結果ヲ記入スルコト
- 一 配置上注意

鼠ノ棲居及通行場所ハ地方ニヨリ又ハ鼠ノ種類ニ依リ往々異ナルモノナルヲ以テ(假令ハ或ル地方ハ主ニ家屋ニ棲シカ如)之ガ配置ニハ最モ注意スルコト

- 一 人畜特ニ小兒ニ危害ナキ場所ヲ選ム事家人ニ注意シテ配置ノ日ハ猫其他ノ家畜ヲ取締ラシムル事
- 一 署長ハ市役所ト協議ノ上毎日配置スヘキ區割ヲ定ムルコト
- 一 配置ハ一ヶ所ニ三日乃至五日間行フ事
- 一 解毒劑ハ各警察署内及最寄派出所駐在所ニ備置キ應急ノ用ニ供スル事

- 一 斃鼠ヲ發見シタルトキハ其局部ヲ消毒スルコト
- 一 濕潤セル床下及不潔ナル便所下水等特ニ消毒ヲ要スヘキト認ムルモノ、外ハ消毒藥品ノ使用ヲ要セサルコト

但衛生組合又ハ個人ノ費用ヲ以テ消毒ヲ爲スハ妨ナシ

- 一 本件清潔方法ノ施行ニ限リ塵芥其他ノ不潔物ハ必ス一定ノ場所ニ運搬シ可成焼却スルコト
- 一 本件清潔方法ノ施行ヲ衛生組合ニ於テ爲サムトスル場合ハ之ヲ許可シ差支ナシト雖必ス警察官吏市長又ハ衛生組合長ニ届出ツヘシ犯シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

督指示ノ下ニ爲サシムルコト

參照明治四十年示令第五十四號ヲ以テ改正

(七二) 神奈川縣令第四十五號
 横濱市内ニ於テ斃鼠ヲ發見シ又ハ生鼠ヲ捕獲シタルモノハ十二時間以内ニ警察官吏市長又ハ檢疫官、檢疫委員、豫防委員、衛生組合長ニ届出ツヘシ犯シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年六月二十六日 知事

(七三) 示令第七十六號

市內 警察 署

米穀、芋類、落花生、肥料、等鼠ノ嗜好スル物品ヲ多量ニ取扱フ家又ハ是等ヲ貯藏スル物置等ニシテ多數ノ鼠棲息スル虞アル場所ハ所有者又ハ管理者ヲシテ此際左ノ方法ニ依リ消毒的清潔方法ヲ施行セシムヘシ

- 一 家屋物置ノ周圍ハ亞鉛板其他ノモノヲ以テ適宜ノ包圍ヲ爲シ鼠ノ逸出ヲ防ク事
- 一 臺所、流シ口、下水溝其他鼠ノ出入シ得ヘキ個所ハ塞クコト
- 一 屋根裏、天井裏、流シ下、床下等ハ特ニ注意シテ鼠ノ棲息スルヤ否ヤヲ檢シ且ツ羽目板、根太板流シ板ヲ取放シ必要ト認メタルトキハ地盤ヲ掘鑿シテ鼠ノ搜索捕獲ヲ爲スコト

但根太板及流シ板ニ隙隙ナク周圍ヨリモ鼠ノ出入シ得サルモノハ取放スコトヲ要セス

- 一 天井裏屋根裏及床下ノ塵埃ヲ掃除シ一定ノ場所ニ於テ焼却スルコト
- 一 斃鼠ヲ發見シタルトキハ局部ニ消毒スルコト
- 一 消毒方法着手三日乃至五日前ヨリ殺鼠劑ヲ配置スルコト
- 一 施行ノ際ハ警察官吏及市吏員ニテ監督スルコト
- 一 搜索捕獲シタル鼠ハ市ニ於テ買上直ニ警察部ニ送附スルコト
- 一 施行ノ日時ハ警察署ニ於テ之ヲ定メ義務者ニ指示スルト同時ニ市役所ニ通知スルコト

明治三十六年六月二十七日

檢疫委員長

(七四) 示令第八十一號

市內 警察 署
檢疫 委員 官

殺鼠劑取扱ニ關シテハ本年六月示令第六十四號ヲ以テ取扱規程ヲ設ケ之ガ配布聚收ヲ明カニシ人畜特ニ小兒ニ危害ナキ場所ヲ選ムコト等配置上嚴重注意シ置キタルニ不抱往々取扱粗漏ノ結果小兒等ノ誤食スルモノアルハ遺憾ノ次第ニシテ既ニ本月五日本市西戸部町百番地平民鐵道局車掌勝友長男永田寛(七年)同次女永田ヨシ(五年)同町戸部學校教員有藏長男黒江定應(五年)ノ三名ハ西戸部小學校後方道端石段ノ上ニ配付シアリタル殺鼠劑各一個ヲ食ヒタルモノニシテ直ニ醫療ヲ施シタル結果生命ニ危害ヲ及ホスコトナキヲ得タルモ畢竟家人ヘ注意殺鼠劑ノ配置取扱粗漏ノ結果ニ外ナラス候條爾今ニ層注意セラレヘシ

明治三十六年七月二十三日

檢疫委員長

第五章 令達通牒

五百三十八

(七五)神奈川縣令第五十號
明治三十六年五月神奈川縣令第三十五號指定地域中左ノ通牒
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年八月三十日

知

事

- 三吉町 自一丁目 至五丁目
- 長者町 自一丁目 至四丁目
- 千歳町 自一丁目 至三丁目
- 山田町
- 富士見町
- 山吹町
- 不老町 四丁目
- 翁町 五丁目
- 扇町 五丁目
- 壽町
- 松影町 五丁目
- 永樂町 (貸座敷指定地ヲ除ク)
- 眞金町 (同)

(七六)神奈川縣令第五十四號

明治三十六年五月神奈川縣令第三十五號指定地域中左ノ通牒
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年九月十五日

知

事

- 松影町 自一丁目 至四丁目
- 吉濱町
- 壽町
- 扇町
- 萬代町

(七七)神奈川縣令第五十五號

明治三十六年五月神奈川縣令第三十五號指定地域中萬代町ノ次へ左ノ通牒加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年九月十七日

知

事

- 翁町 自一丁目 至四丁目
- 不老町 自一丁目 至三丁目

橘樹郡役所

(七八)訓第百八十三號
其郡子安村ニ「ベスト」患者一時ニ二名發生シ隣接横濱市浦島町ニ於テハ本年八月以來既ニ六名ノ患者ヲ發生シ尙蔓延ノ虞アルニ付之ヲ豫防上嚴重ナル施設ヲ要スルハ勿論此際速ニ隔離病舎ヲ設置セシメ患者ノ發生シタルトキハ直ニ之ヲ措置シ得ルノ設備ヲ爲サシムヘシ
右訓令ス

明治三十六年十月三十一日

知

事

第五章 令達通牒

五百三十九

(七九)神奈川縣令第六十三號

明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第二號ニ依リ左ノ區域ニ於ケル交通ヲ遮斷ス

明治三十六年十一月一日

知事

一 横濱市松影町一丁目 自三十一番地至三十七番地

一同市吉濱町 自三番地至十番地

一 神奈川町字浦島町 國道沿百四十二番地ヨリ榎樹郡子安村境界ニ至ル東側全部

一 榎樹郡子安村字子安 國道沿三千三百十番地ヨリ横濱市神奈川町字浦島町境界ニ至ル東側全部

參照 十一月十九日縣令第六十七號ヲ以テ浦島町ノ遮斷ヲ本日限り解除ス

十一月二十日同令第六十八號ヲ以テ子安村ノ遮斷ヲ本月二十一日限り解除ス

十一月二十九日同令第七十一號ヲ以テ松影町一丁目 (三十七番地ノ一部ヲ除ク) 及吉濱町ノ遮斷ハ本月三十日限り解除ス

(八〇)縣令第六十四號

海外諸港並ニ臺灣ヲ發シ若クハ以上ノ地ヲ經過シテ來ル船舶内ノ塵芥類ハ當分ノ内陸揚スルコトヲ禁止ス但シ警察官署ノ認可ヲ受ケ一定ノ場所ニ於テ消毒方法ヲ施行スルモノハ此限ニ在ラス

本令ニ違背シタルモノハ科料ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十二年十一月十一日 神奈川縣令第八十二號ハ廢止ス

明治三十六年十一月一日

知事

(八一)示令第五百五號

警察署

明治三十六年示令第五十九號交通遮斷區域内消毒方法左之通り改正ス

明治三十六年十一月二日

警察分署
検査疫官
検査疫委員
検査委員長

交通遮斷區域内消毒方法

第一 遮斷ノ日ヨリ殺鼠劑及捕鼠器ニテ鼠ノ驅除ヲ行フコト

第二 患家ノ消毒ヲ急速ニスルトキハ却テ鼠ヲ四方ニ逃竄セシメ病毒ヲ弘播スルノ虞アルニ付第一項ニ依リ數日間驅鼠ヲ行ヒ及四方ヲ圍障シテ逃竄ヲ防クノ方法ヲ爲シタル後ニアラサレハ消毒セサルコト

第三 消毒法ノ施行ハ病毒ノ薄キ部分(即チ患家ヲ距ルコト最モ遠キ場所等)ヨリ漸次病毒濃厚ナル部分ニ及

ホスコト

第四 交通遮斷ノ圍障ハ鼠ノ逃竄シ得サル様充分嚴重ニスルコト

一 下水ハ金網ニテ之ヲ塞クコト

一 土中ノ鼠穴ニ注意シ之ヲ塞クコト

第五 家屋物置等ハ先ツ其建具器具其他移動シ得ヘキ物品全部ヲ屋外ニ搬出シタル後消毒ニ着手スルコト

第六 家屋倉庫其他ノ建物ノ天井床板羽目板流シ及土間ノ板張ハ全部取外シノ上消毒スルコト

但天井及床板ハ其構造ニ依リ消毒上少モ差支ヘナキトキハ全部ヲ取外サハルコトヲ得

第七 建物ヲ一部宛消毒スルトキハ鼠ハ假令ハ階上ヲ消毒ノトキハ階下ニ潜伏スル等ノ虞アルニ付第五項第六

項ヲ終リタル後全部同時ニ着手シ消毒ノ際ハ鼠ヲシテ潜伏ノ場所ヲカラシムルヲ要ス

第八 建物ハ可成一棟又ハ數棟宛第七項ノ方法ニ依リ消毒ヲ施行スヘシ鼠潜伏ノ虞ナキ場合ノ外一棟ヲ分チテ

施行セサルコト

第九 家屋消毒ノ場合ハ家人ヲシテ可成其家ニ居ラシメテ但第五項ノ搬出ノ補助ヲ爲サシムルハ差問ナシ

第十 木造ノ下水樋ハ樋ヲ其樋及周邊凡ソ一尺ノ土ヲ掘起シ鼠又ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シテ後石灰乳ヲ以テ之ヲ消毒スルコト

第十一 患家ノ床下物置等ハ床土ヲ掘起シ鼠又ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シテ後石灰乳ニテ消毒スルコト但床下等ノ堅固ナル「コンクリート」又ハ「セメント」敷キ等ニシテ精密検査ノ土鼠侵入ノ虞ナシト認ムルモノハ此限リニアラス

第十二 患家ニアラサルモ米屋、雜穀、乾物、豆、落花生、芋屋、營業場所及之等ノ物品ヲ貯藏セル物置其他土中ニ鼠ノ棲息交通セリト認メラル、場所ハ前項同様掘起シ鼠ノ搜索捕獲ヲ爲シタル上消毒スルコト

第十三 前二項ノ掘起シハ土質等ニ依テ斟酌スベキモ凡ソ一尺乃至二尺タルコト

第十四 藁葺、茅葺屋根ハ取除焼却スルコト

第十五 瓦葺屋根ハ精密検査ノ上毫モ鼠ノ棲息交通セル形跡ヲ認ムルモノ、外ハ總テ取放シ鼠ノ搜索捕獲ヲ爲シタル上消毒スルコト

第十六 第十四項第十五項ノ場合及第六項ノ施行ニ依リ著シク建物ヲ毀損スル場合ハ所有者ノ承諾又ハ市町村等ニテ補償ノ途ヲ盡サシメタル上着手スルコト

第十七 交通遮断内ハ道路ヲ除ク外石灰乳、昇汞水、石炭酸水又ハ焼却法ニヨリ全部消毒スヘシ

第十八 井ハ石灰乳ヲ次テ消毒スヘシ

第十九 屋根裏、外部ノ羽目板、床板及床板以上ノ石炭酸存在セザル場所ヲ除クニ限り昇汞水ヲ以テ消毒スルコト但美麗ナル金屬製飾ナク且附近ニ飲料水井戸ナキ家屋ニシテ消毒結了後清水ヲ以テ洗拭シ得ヘキ場合ニハ内部ニ至ル迄昇汞水ヲ以テ消毒スルコトヲ得又昇汞水ニハ規定ノ鹽酸ヲ加ヘサルコトアルヘシ

第二十 昇汞水使用ノ場合ハ必ス特別事務ノモノヲシテ從事セシムルコト

第二十一 椽側、臺所押入ノ裏面等ニアル鴨居ノ上面及長押ノ上面ノ如キ鼠族ノ通路ニ當レル部分ハ特ニ注意シテ消毒スルコト

參照明治四十年六月示令第五十二號ヲ以テ改正

(八二)檢發第三百二十四號

交通遮断内事務取扱ニ付別紙之通相定メ候條此段及通牒候也

明治三十六年十一月四日
橘樹郡長宛

檢疫委員 長

追テ此事項ハ子安村長ニ御通達相成度候也

一 遮断区域内ハ家人ヲ隔離シタル後消毒ヲ施行スヘキ例規ナルモ器具物品ハ消毒方法ノ施行シ得ラル、モノニ限り移送前消毒シテ保管倉庫ニ貯藏セシムルモ差支ナシトス

二 前項保管倉庫ニハ既消毒品ト未消毒品ヲ混置スヘカラサルハ勿論ナルヲ以テ若シ同一倉庫内ニ貯藏スル場合ニハ充分其區畫ヲ爲スコト但シ成ルヘク倉庫ハ各別ニスルヲ可トス

三 人民移送前消毒ヲ施行シタルモノハ直ニ遮断區域外(假令ハ親族等ニ預クル等ノ如キ)ニ持出スモ差支ナシトス

四 第一項ノ消毒ハ監督ヲ充分ニセサルヘカラサルハ勿論消毒方法ニ就テハ煮沸ハ家人ヲシテ行ハシムモ可ナレトモ藥物消毒ハ必ス村吏ニテ之ヲ爲スコト

五 遮断区域内ハ消毒方法ヲ一日内ニ終了シ得ヘキ程度ニ區畫ヲ設クルコト但シ其區畫ハ鼠ノ逃竄ヲ防ク目的ナルヲ以テ家ノ軒先ヨリ一間ヲ距ルトキハ亞鉛板ノ横敷ニテ差支ナシトス

六 海上ニアル船舶ハ所有者ヨリ漁業組合ニ其保管ヲ依托スルモ差支ナシ

第五章 令達通牒

- 七 保管倉庫内物品保管ハ村ノ責任トス
- 八 遮断内ノ人民ハ盡ク隔離スルコト
- 九 家屋消毒ノ際ハ成ルヘク總代ヲシテ立會サシムルコト
但總代ハ五戸乃至十戸ヨリ一名ヲ選ハシムルコト總代ノ往復費用ハ縣費ヨリ支給セス
- 十 總代ハ移送前ニ其姓名ヲ定メ置クコト
- 十一 家屋消毒ノ節物品ノ買收焼却ヲ必要トスルトキハ總代ト協議ノ上其價格ヲ定ムルコト
其費用ハ村ノ負擔トス

(八三)神湊乙第四百九十四號

今般縣令第六十四號ヲ以テ海外諸港並ニ臺灣ヲ發シ若ハ以上ノ地ヲ經過シテ來ル船舶内ノ塵芥類陸揚禁止ノ件發布相成候ニ付テハ右取扱方左ノ通り心得ラルヘシ

明治三十六年十一月九日

港務部長

横濱水上署長宛

- 一 本令ニ指定ノ地方ヨリ來ル船舶ニ於テ塵芥類ヲ船卸スルトキハ陸揚ノ目的ニ出ツルモノナルカ若ハ港外ニ運搬投棄スル目的ニ出ツルモノナルカヲ調査スヘシ
- 二 陸揚消毒ノ上處分セントスル目的ニ出ツルモノナルトキハ船卸前ニ消毒方法施行場所轄警察官署ノ認可ヲ受ケシムヘシ
- 三 港海外ニ運搬シ投棄スル目的ニ出ツルモノナルトキハ之ヲ投棄シ終ル迄監視スヘシ
但投棄ノ場所ハ港界線外凡ニ海里以外ノ位置タルヘシ
- 四 灰燼中塵芥類ヲ混交シテ灰燼ト認メ難キモノハ塵芥類トシテ處理スヘシ

- 五 灰燼ト認メタルモノハ塵芥一艘毎ニ陸揚認可證ヲ付與シ之ヲ陸上警察官吏ニ差出サシムヘシ
内地諸港ヨリ來ル船舶ヨリ船卸シタル灰燼及塵芥類ハ塵船一艘毎ニ其證明書ヲ交付スヘシ
- 六 前各項ノ事項ハ塵船營業者ヲ呼出シ豫メ訓示シ置クヘシ

(八四)示令第百十四號

警察分署

海外諸港若クハ臺灣ヲ發シ又ハ經過シ來ル船舶内ノ塵芥類ニハ往々「ペスト」病毒ノ伏在スルアリ本年横濱市内ニ發生セル「ペスト」患者中其系統全ク該塵芥類ニアリト認ムルニアリ依テ之ガ豫防上必要ヲ認メ曩ニ縣令第六十四號ヲ發シ當分ノ内之ガ陸揚ヲ制限セラレタル所以ナリ故ニ之ガ取締ヲ勵行スルト否トハ防疫上多大ノ關係ヲ有スルニ付取締上苟モ緩慢ニ失スルガ如キアラハ防疫上ノ失體トナリ病毒散蔓不測ノ患者ヲ招クモ亦難計ニ付本月十九日示令第百十二號ノ趣旨ヲ體認シ右塵芥類ノ陸揚ニ關シテハ最モ嚴重ナル取締ヲ要スル義ト心得ヘシ

明治三十六年十一月二十二日

警部長

(八五)神奈川縣令第六十六號

明治三十六年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第二號ニ依リ左ノ地域ニ於ケル交通遮断ヲ施行ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年十一月十一日

知事

一 横濱市吉濱町自十一番地至十五番地

參照本年十二月七日縣令第七十五號ヲ以テ遮断解除ス

第五章 令達通牒

(八六) 示令第一百十號

明治三十六年^六示令第六十三號特別消毒的清潔法施行方法左ノ通改正ス

明治三十六年十一月十三日

防疫各部
警察部各課
警察分署
警察部長

特別消毒的清潔法施行方法

- 第一 有菌鼠ヲ發見シタル附近凡一丁四方交通遮斷地ノ附近及特ニ指定サレタル場所ハ此規程ニ依リ消毒的清潔法施行ノコト
- 第二 斃鼠發見ノ届出ヲ受ケタルトキハ先ツ其發見場所ニ對シ直ニ消毒方法ヲ行フコト
- 第三 斃鼠捕鼠細菌検査ノ結果有菌ナルヲ確定シタル場合ニ於テハ直チニ所轄署及市役所ニ通報スルコト
- 第四 有菌鼠アリタル建物(屋外ニアリタルトキハ之ニ接近セル建物)内ノ物件ハ豫防法第十條ニ依ルコト
- 第五 清潔法區域ハ三尺以上ノ亞鉛板ヲ以テ圍障ヲ圍ラシ下水ニハ金網ヲ以テ鼠ノ逃竄ヲ防クコト
但通路ヲ開キ交通ハ隨意タラシムヘキモ曉方及薄暮ハ特ニ鼠ノ逃竄ニ注意シ且ツ日没ヨリ日出迄亞鉛板ニテ閉サシムルヲ可トス
- 第六 前項區域内ニハ毎日消毒法ヲ終了シ得ヘキ小圍障ヲ設ケテ着手スルコト
但清潔法施行ノ日數長キトキハ結了シタル部分ハ開放スルコト
- 第七 清潔法着手前成ルヘク五日前ヨリ捕鼠器殺鼠劑ヲ配付シ驅鼠ヲ勵行セシムルコト
- 第八 清潔法ハ病毒ノ稀キ部分(假令ハ有菌鼠發見場所ヨリ數モ遠キ部分)ヨリ初メ漸次病毒濃厚ト認ムル部分ニ及ホスコト
- 第九 清潔法ノ施行ハ專ラ鼠ノ搜索ヲ勉メ且ツ消毒的ナルヲ要スルコト

第十 家屋倉庫其他ノ建物ハ流シノ全部及羽目板全部又ハ其過半床板天井押入ノ床板等ハ一部又ハ全部ヲ必ス取外サシメ專ラ斃鼠ノ搜索ヲ爲サシムルト同時ニ生鼠捕獲ヲ爲サシムルコト但天井ハ自由ニ出入動作シ得ル場合ハ取放サ、ルコトヲ得

第十一 天井
天井ハ全部之ヲ取外ス場合ハ嚴重ニ鼠ノ搜索ヲ爲シタル後取外シ裏面ノ塵埃ヲ掃ヒ表裏共ニ石炭酸水ヲ充分ニ灌クコト
其一部取外シノ場合ハ二ヶ所ニ人ノ自由ニ出入シ得ラル、丈ケノ板ヲ取外シ吏員及人夫ニ燈火及箒ヲ携帶上ラシメ天井裏屋根裏ノ鼠ヲ搜索シ次ニ消毒唧筒ヲ以テ石炭酸水ヲ撒布シ次ニ塵埃ヲ掃キ集メ相當ノ方法ニ依リ之ヲ除去シ最後ニ消毒唧筒ヲ以テ石炭酸水ヲ天井ノ表裏ニ灌クコト

第十二 屋根等
屋根裏特ニ草葺屋根ハ鼠ノ巢棲又ハ穴ヲ作り通行スルコト多キヲ以テ嚴重ニ鼠ノ搜索ヲ爲スコト
屋上又ハ屋根裏ニ鼠ノ通行路又ハ鼠巢アリト認ルトキハ屋根ノ一部ヲ剝キ之ヲ檢スルコト
屋根裏ハ消毒唧筒ニテ石炭酸水又ハ昇汞水ニテ消毒スルコト
梁上等ハ箒又ハ刷毛ノ類ヲ以テ塵芥ヲ掃除シタル後石炭酸水又ハ昇汞水ニテ消毒スルコト
草葺屋根ハ交通遮斷地ニ接近シタル場所又ハ有菌鼠發見ノ建物ハ全部取除キ燒却スルコト

第十三 羽目板
羽目板ハ鼠搜索ノ後壁及板ノ兩面ヲ石炭酸水又ハ昇汞水ニテ充分消毒スルコト

第十四 床下及床下地面
床高クシテ床下ニテ自由ニ働作スルコトヲ得ル場合ノ外床板ノ全部又ハ過半ヲ取外シ鼠ヲ搜索モシメタル後塵埃ヲ掃除スルコト

土臺杭等ハ石炭酸水又ハ昇汞水ニテ消毒スルコト
 床下ノ地面ハ鼠穴ノ有無ヲ檢セシメ鼠穴アルトキハ其部分ヲ掘起シテ鼠ヲ搜索セシメタル後其他ノ部分ハ
 單ニ行渡ラサル所ナキ様石灰乳又ハ昇汞水ヲ以テ消毒スルコト
 穀物ヲ取扱フ場所穀物倉乾物落花生芋屋營業場所ノ床下及之等ノ物品ヲ藏置セル物置又ハ多數鼠穴ノアル
 處ハ必ス全部掘起セシメ前號同様消毒ノコト（「コンクリート」煉瓦又ハ石灰敲キ等ニシテ鼠ノ侵入セサル
 モノハ除ク）

第十五 流シ

流シハ土地ニ附着シタルモノハ取外シテ上消毒スルコト

第十六 建物ノ内外

屋内ハ石炭酸水ヲ充分ニ灌キテ消毒ノコト
 椽側臺所押入ノ裏面等ニアル鴨居ノ上面及長押ノ上面ノ如キハ特ニ注意シテ消毒スルコト
 文庫倉ニシテ石造煉瓦造又ハ堅固ナル土藏等ハ鼠穴鼠糞ヲ檢シ又ハ食物ヲ投シテ試ミ鼠ノ全ク棲息又ハ通
 行シタルコトナシト確認シタルモノハ消毒セサルコトヲ得
 外部ノ壁ハ有菌鼠アリタル附近ハ石炭酸水又ハ昇汞水ヲ撒布シ其他ノ場所ニ就テハ病毒汚染ノ虞ナシト認
 メタル部分ハ之ヲ撒布セサルコト

第十七 下水

下水ハ嚴重ニ檢査シ鼠ノ棲居又ハ通行セル虞アル部分ハ之ヲ掘起スルコト
 下水ハ石灰乳又ハ昇汞水ニテ消毒スルコト

第十八 建具器具衣類等

衣類及器具ニシテ相當器物中ニ藏シ病毒汚染ノ虞ナキモノハ左ノ各號ニ依リ消毒ノコト
 有菌鼠アリタル家及其附近ニ在リテハ衣類等ハ蒸氣消毒又ハ石炭酸水ニ浸漬消毒シ建具器具等ハ石炭酸

水ニテ擦拭又ハ撒布消毒スルコト

前號以外ノ家ニ在テハ建具疊等ハ石炭酸水ニテ擦拭又ハ撒布消毒シ器具衣類等ハ石炭酸水ニハ擦拭又ハ煮
 沸消毒或ハ日光消毒スルコト

第十九 清潔方法ニ依リ蒐集シタル塵芥其他ノ不潔物ハ必ス燒却スルコト

第二十 第十項第一號第十一項ノ施行ニ依リ著シク建物ヲ毀損スル場合及第十二項第五號ノ場合ハ所有者ノ承
 諾又ハ市町村等ニテ補償ノ途ヲ講セシメタル上着手スルコト

第二十一 清潔方法ハ必ス警察官吏市吏員監視ノ下ニ之ヲ施行セシムルコト

第二十二 石灰ノ存在セサル場所ニハ昇汞水ヲ使用セサルコト

第二十三 此規定ハ清潔方法ノ全部ヲ網羅シタルモノニアラス特ニ注意ヲ要スル點及施行ノ畫一ヲ期スヘキ點
 ヲ規程シタルモノナルニ付通常ノ消毒方法ハ執行者ニ於テ注意執行スルコト

參照明治四十年 示令第五十三號ヲ以テ改正

(八七) 示令第百十三號

明治三十六年 示令第六十四號殺鼠劑取扱規程左ノ通改正ス

明治三十六年十一月二十二日

殺鼠劑取扱規程

第一條 殺鼠劑ハ市役所ヨリ提供スル材料ニヨリ驅鼠部ニ於テ之ヲ調製スルコト

第二條 警察署ニ監吏若干名ヲ置キ殺鼠劑ノ取扱ヲ爲サシム

第三條 殺鼠劑ノ配置及聚收ハ警察官監吏市吏員ヲシテ之ヲ掌ラシム但衛生組合役員ニシテ其配收ヲ爲サシム

第五章 令達通牒

防 疫 各 部

市 内 警 察 署

警 部 長

第五章 令達通牒

五百四十八

トヲ欲スルモノアルトキハ警察署長ハ市役所ト協議之上之ガ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得
 第四條 特別種類ノ殺鼠劑ニ就テハ警察署長ト協議ノ上驅鼠部ヨリ直接配置聚取ヲ爲スコトアルヘシ
 第五條 交通遮断内ニシテ現住者ノアラサル場合ノ外殺鼠劑ハ毎日凡午後四時ヨリ八時マテニ之ヲ配置シ翌日
 午前十時マテニ聚收スルコト

第六條 鼠ノ棲居及通行場所ハ土地ニ依リ又ハ鼠ノ種類ニ依リ同シカラサルヲ以テ(或地方ニハ主ニ家屋ニ棲
 ヒ或地方ニハ下水附近ニ棲メルノ類)之ガ配置ニハ最モ注意スルヲ要ス

第七條 人畜殊ニ小兒ニ危害ナキ場所ヲ撰ミ且ツ鼠ノ食物トナルモノヲ取片付ケシムルヲ可トス
 第八條 家人ヲ警メ配置ノ日ハ猫其他ノ家畜ノ取締ヲ爲サシメ且ツ配置中及配置後數日間ハ飲料水ニ覆蓋ヲ爲
 ス等注意セシムヘシ

第九條 殺鼠劑ヲ配置スル場合ハ家人ニ對シ解毒劑ノ置場ヲ告知スヘシ

第十條 配置聚取ハ特定ノ官吏吏員又ハ衛生組合役員ニ於テ必ス之ヲ掌リ家人ヲシテ干與セシメサルヲ要ス

第十一條 遮断區域内ハ鼠ノ食料トナルヘキモノヲ清掃後凡ソ五日間以上豫防區域ハ其解除マテ注意區域其他
 ハ一家屋(其他ノ建物トモ)三日以上繼續配置スルモノトス

第十二條 警察署最寄派出所巡查駐在所ニハ驅鼠部ヨリ配付スル解毒劑ヲ備ヘ置キ應急ノ用ニ供スルモノトス

第十三條 警察署ニ別記様式ノ簿冊ヲ備ヘ置キ殺鼠劑成績表調製ノ材料ニ供スルモノトス

第十四條 殺鼠劑容器ハ配置シタル翌日全部聚取シ市役所ニ送り消毒セシムルモノトス

(様式)

認 署 印 ○長	月 日	町村名	區域別	戸 數	配置數	殺 鼠 劑 種 類	咬 喰 數	消 失 個 數	不 食 數
-------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----------------------	-------------	------------------	-------------

合 計									

(八八)神奈川縣令第六十七號

本年^{十一月}縣令第六十三號ヲ以テ交通遮断ヲ施行セル區域ノ内横濱市神奈川町字浦島町ハ本日限り之ヲ解除ス

明治三十六年十一月十九日

知 事

(八九)神奈川縣令第六十八號

明治三十六年^{十一月}神奈川縣令第六十三號交通遮断區域中橋樹郡子安村子安ハ本月二十一日午前九時限り解除ス

明治三十六年十一月二十日

知 事

(九〇)神奈川縣令第六十九號

明治三十六年^{五月}神奈川縣令第三十五號指定地域中左ノ通追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年十一月二十五日

知 事

石川町

石川仲町

中村町

(九一)神奈川縣告諭第二號

客年十月横濱市海岸通五丁目ニ「バスト」患者發生以來本年ニ入り既に五十餘名ノ患者ヲ發生シ加之有菌鼠ハ各方

第五章 令達通牒

五百四十一

面ニ涉リ、發見セラル、ノ狀況ナルヲ以テ各戸共何時該病毒ノ侵襲ヲ察ルヤモ測リ知ルヘカラス故ヲ以テ曩ニ市
内全部ニ對シ消毒又ハ清潔方法ノ施行ヲ爲サシメタルモ該病毒ノ執拗ナル未タ以テ全滅ヲ期スル能ハサルハ甚
タ遺憾ノ至ニシテ是レ今般特ニ縣令第七十號ヲ發シ冬季ニ於ル各自煤掃ヲ機トシ驅鼠の清潔方法ノ施行ヲ命シ
タル所以ナリ就テハ各自其趣旨ヲ體認シ當該吏員ノ指示ニ從ヒ專ラ鼠族驅除ニ勉メ併セテ清潔方法ヲ施行シ特
ニ各自攝生ヲ重ンシ邸宅及便所下水等ノ如キハ斷ヘス掃除シ努メテ該病毒ノ侵襲ヲ受ケサル様一層警戒スヘシ
明治三十六年十二月八日
知 事

(九二)神奈川縣令第七十號
傳染病豫防上必要ヲ認ムルニ付明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條第七號ニヨリ橫濱市ニ驅鼠の
清潔方法ノ施行ヲ命ス土地家屋其他建物ノ占有者又ハ所有者ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ速ニ施行スヘシ
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治三十六年十一月二十五日
知 事

(九三)神奈川縣令第七十一號
明治三十六年十一月二十九日
知 事

(九四)神奈川縣令第七十四號
明治三十六年十一月二十九日
知 事

明治三十六年十二月一日

知 事

(九五)神奈川縣令第七十五號

明治三十六年十一月二十九日
神奈川縣令第六十六號橫濱市吉濱町自十一番地至十五番地交通遮斷ハ本日午後四時限リ解除ス

知 事

(九六)檢發第四百八十三號

市內各警察署
檢 疫 醫
檢 疫 委 員
警 部 長
明治三十五年十月檢發第九號「ベスト」豫防ニ關スル健康診斷及健康視察從事者心得
明治三十六年十二月九日
警 部 長

一 健康診斷及健康視察ニ從事スルトキハ嚴肅周密ナルヘキハ勿論ナルモ親切叮嚀ニシテ受診者ノ感情等ヲ損

セサルコトニ注意スルコト

二 健康診斷ヲ行フニハ能ク手ヲ洗淨ス可シ

三 健康診斷ハ檢疫醫又ハ檢疫委員之ヲ行ヒ其方法ハ舌及脈搏ヲ檢診シ異狀アリト認ムルモノニ限リ體溫及腺
腫ノ有無ヲ檢スルコト

四 前項檢診ノ結果「ベスト」又ハ其疑アリト認メタルトキハ一時家人ノ出入ヲ止メ置キ便宜警察部又ハ警察署
ニ報告スルコト

五 警察部ニ於テ前項ノ報告ニ接シタルトキハ更ニ檢疫醫又ハ檢疫委員ヲ派遣シ精密診斷ノ上病症ヲ決定スル
第五章 令達通牒
五百四十三

- 六 健康視察ハ警察官之ヲ行ヒ必要ニ應シ檢疫醫之ヲ補助ス
- 七 健康視察ノ際病者ヲ發見シタルトキハ所屬警察署ニ報告シ警察署ハ直ニ醫師ヲ派遣シ診斷セシムルコト
- 八 健康診斷及健康視察ノ場合ニハ便宜市吏員ト協同シ又ハ衛生組合ヲシテ助力セシムルコト
- 九 左ノ諸病ニシテ開業醫ニ於テ「ベスト」病ノ疑ヒナキコトヲ證明スルモノハ健康診斷及健康視察ヲ爲サ、ルコトヲ得
 - 一 慢性病者
 - 一 熱性患者ニシテ二週間以上經過ヲ執リシモノ
 - 一 外科的患者

右證明ハ患者ノ所言ニ據ラス主治醫ヨリ警察署又ハ檢診ノ醫士ニ口頭又ハ書面ヲ以テ證明スルヲ要ス但同一ノ病症ニシテ同一醫師ニ於テ診察ヲ繼續セル間有効ナルモノニシテ其後ハ新ニ證明スルニアラサレハ効力ナシトス

小兒又ハ妙齡ノ婦女等ニシテ診斷ヲ嫌疑シ若クハ病症ニ依リ健康診斷ヲ拒ミ強テ之ヲ行フトキハ其者ノ病氣ニ影響シ又ハ一家ノ平和ヲ損スル等ノ虞アルトキハ「ベスト」ノ疑アリト證スル場合ノ外之ヲ見合セ署長ノ指揮ヲ受クヘシ

(九七) 示令第十二號

防 疫 各 部
警 察 部 各 課
警 察 分 署

業體ニ依ル家屋其他清潔方法左ノ通り定ム

明治三十七年一月二十六日

警 察 部 長

業體ニ依ル家屋清潔法施行方法

- 第一 鼠族ノ多數棲息セリト認ムル營業者及不潔物ヲ取扱フ者并ニ外國航行船舶ニ關係アル家屋倉庫又ハ特ニ必要ト認ムル細民部落ハ此方法ニ依リ清潔法施行ノコト
- 第二 前號家屋中ニハ其營業者ガ所有又ハ占有ニ係リ其家屋ニ接近シ常ニ出入スル倉庫物置等ハ凡テ包含ス
- 第三 清潔法ノ施行ハ專ラ斃鼠ノ搜索及生鼠ノ捕獲ヲ努メ且ツ必要ノモノニ對シテ消毒方法ヲ行フコト
- 第四 清潔法施行ノ家ニ對シテハ必スシモ亞鉛板圍ヲ要セサルモ鼠ノ逃竄セサル様注意ノコト
- 第五 不潔ナル人足部屋、木賃宿其他ノ家屋又ハ不潔ナル細民部落ハ必要ノモノトシテ消毒の清潔法施行ノコト
ト此場合ハ明治三十六年十一月十一日 示令第一百十號特別消毒の清潔法施行方法ニ依ルコト
- 第六 清潔法着手前左ノ處置ヲ爲スコト
 - 一 着手前日以上捕鼠器及殺鼠劑ヲ配附シ驅鼠ヲ勵行スルコト
 - 二 着手前下水口ニ金網ヲ張り且ツ家屋内鼠ノ逃竄スヘキ穴等ハ之ヲ壅塞スルコト
- 第七 疊、建具、器具、衣類、物品、商品等ハ着手前悉ク屋外ニ搬出シ日光ニ晒スコト但相當器物中ニ藏置アルモノハ器物中ヨリ取出スニ及ハス
- 第八 家屋、倉庫其他ノ建物ノ内外ニ於テ斃鼠ノ搜索及生鼠ノ捕獲ヲ爲スニハ凡ソ左ノ標準ニ依リ必ス吏員ニ於テ嚴重ニ検査シ人夫ニ一任セサルコト
 - 一 天井ハ人ノ自由ニ出入シ得ラル丈ケノ板ヲ取外スコト
 - 二 床板及押入ノ床板類ハ其一部又ハ全部ヲ取外スコト但シ單板ニシテ鼠ノ棲息スル餘地ナキモノハ取外スニ及ハス
 - 三 床板ハ床高クシテ床下ニテ自由ニ働作シ得ル場合ハ其一部然ラサルモノハ全部ヲ取外スコト

- 四 流シハ土地ニ附着シタルモノハ必ス取外スコト
- 五 床下ノ地面及流シ下ノ地面ハ鼠穴ノ有無ヲ檢シ鼠穴アルトキハ之ヲ掘起スルコト床下ノ地面ハ掘起シタルトキ流シ下ノ地面ハ掘起スルト否トニ拘ラス石灰乳又ハ石灰末ニテ消毒ノコト
- 六 羽目板ハ全部又ハ一部ヲ取外スコト
- 七 屋上及屋根裏ハ外部ヨリ嚴重ニ檢査シ鼠ノ通行路又ハ鼠巢アリト認ムルトキハ屋根ノ一部ヲ取外スコト
- 八 下水ハ嚴重ニ檢査シ鼠ノ棲居又ハ通行セル疑ヒアル部分ハ之ヲ掘起スルコト下水ヲ掘起シタルトキハ石灰乳又ハ昇汞水ニテ消毒ノコト
- 九 前各項ノ外屋内隈ナク搜索ノコト
- 第九 前號ニ依リ斃鼠ヲ發見シタルトキハ其場所ハ充分消毒ノコト
- 第十 第七號ニ依リ搜索ヲ爲シタル後塵芥ノ掃除ヲ爲スコト
- 第十一 穀物ヲ取扱フ場所、穀物、乾物、落花生、青物、芋屋ノ營業場所ノ床下及是等ノ物品ヲ藏置セル物置其他多數鼠穴アル處ハ全部ヲ掘起シ石灰乳又ハ昇汞水ニテ消毒ノコト但「コンクリート」煉瓦又ハ石灰敲キ等ニシテ鼠ノ侵入セサルモノハ除ク
- 第十二 蒐集シタル塵芥及不潔物ハ必ス燒却ノコト
- 第十三 清潔法施行ニ依リ著シク建物等ヲ毀損スル場合ハ所有者ノ承諾又ハ市ニ於テ補償ノ途ヲ講セシメタル上着手スルコト
- 第十四 清潔法施行ハ必ス警察官吏市吏員監視ノ下ニ之ヲ行フコト
- 第十五 此清潔法施行ニ依リ發見シタル鼠有菌ナルトキハ更ニ明治三十六年十一月十一日示令第百一十一號特別消毒の清潔法施行方法ニ依リ更ニ消毒方法施行ノコト
- 第十六 此規程ハ清潔方法ノ全部ヲ網羅シタルモノニアラス特ニ注意ヲ要スル點及施行ノ畫一ヲ期スヘキ要點

ヲ示シタルモノニ付通常ノ清潔方法ハ執行者ニ於テ注意實行ノコト

(九八)訓第四十三號

横濱市役所

明治三十六年五月訓第百一號ヲ廢止ス

右訓令ス

明治三十七年三月十六日

知事

(九九)神奈川縣令第三十一號

明治三十五年七月神奈川縣令第五十三號塵船營業取締規則中左ノ通改正ス

明治三十七年四月五日

知事

第二條 第一號中數ノ下ニ「及其ノ種類」ノ五字ヲ加フ

第三條 塵船ヲ分テ二種トシ灰燼ヲ運搬スル船ヲ第二種塵船ト稱シ前者ハ船體ノ外部ヲ黑色ニ後者ハ赤色ニ塗リ兩舷ニハ第一種塵船又ハ第二種塵船ノ四字ト横濱水上警察署ノ定メタル番號トヲ和英兩文ニテ白書スヘシ但シ第一種塵船ノ英文ハ Ash Boat 第二種塵船ノ英文ハ Dirt Boat 書スヘシ

第七條 塵船營業者ハ塵芥類ノ消毒所ヲ設クヘシ

消毒所ハ塵船營業者組合ニ於テ之ヲ設ケ使用前其構造及圖面ヲ具シ本廳ニ申請シテ檢査ヲ受ケ認可ヲ得ヘシ棄却物陸揚場及消毒所ニハ標杭ヲ建テ其名稱及許可又ハ認可ノ年月日並營業者又ハ組合ノ名稱ヲ記スヘシ第十二條 塵船ヲ以テ棄却物以外ノ貨物ヲ運搬シ又ハ第一種塵船ヲ以テ塵芥類ヲ第二種塵船ヲ以テ灰燼ヲ運搬スルコトヲ得ス

第十三條 塵芥類ハ消毒所ニ於テ所轄警察官署ノ指示ニ從ヒ消毒ヲ施行シ若ハ燒却シタル後ニ非ラサレハ他ニ運搬シ又ハ消毒所以外ニ陸揚スルコトヲ得ス灰燼モ必要ト認メ消毒ヲ命シタルトキ亦同シ

第五章 令達通牒

棄却物陸揚場又ハ消所毒ノ位置ハ必要ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ
第十八條中取消サレノ下ニ「若ハ免許ノ効ヲ失ヒ」ノ九字ヲ加フ
第二十一條 第七號ヲ左ノ通改ム

七消毒所ノ設備、維持及組合費用ニ關スル事項

第二十三條ノ第二項トシ左ノ一項ヲ加フ

營業者引續キ六ヶ月以上執業セサルトキハ營業免許ノ効ヲ失フモノトス
第二十六條ノ次ニ左ノ通追加ス

第二十七條從來ノ營業者ハ明治三十七年四月二十六日限り第三條ノ規定ニ依リ塵船ヲ區別シ横濱水上警察署ニ申請シテ船體ノ検査ヲ受クヘシ

附錄第一號雛形中「塵船」ヲ「第一種塵船(第一種塵船)」「Ashes Boat」ハ「Ash Boat (Dirt Boat)」

(一〇〇)警衛發第三號

昨年十一月四日通牒及今十二月二十八日示令ニ依ル驅鼠の清潔方法施行ニ關シ昨日御協議相成候事項中衛生組合ニ於テ百戸ニ對シ大工一人人夫二人ノ設備ハ少ナキニ失スルヲ以テ右ハ五十戸ニ對スル割合トナスヘク其他ハ協議通リ施行スヘキ事ト決定相成候條爲念別紙相添此段及通牒候也

明治三十八年一月十一日

衛生課長

市内各警察署長宛(水上署ヲ除ク)

追テ衛生組合ノ設備ニ付テハ小職ヨリ市役所へ協議致置候間此段申添候也

別紙

驅鼠の清潔法施行方法

一 殺鼠劑ノ調製及配置ハ市役所ニ於テ行フコト

但シ各戸へ配置ハ不日着手シ着手ノ日ヨリ三十日間ニ終了スルモノトス

二 清潔法ノ着手ハ二月初旬ヨリトシ三月末日マテニ全部終了スルコト

三 市吏員一名人夫一人ヲ一組トシ十七組ヲ設ケ市内各署ニ配置スル割合左ノ如シ

伊勢佐木町署四組

壽町署四組

戸部署四組

山手本町署三組

加賀町署二組

神奈川署二組

四 衛生組合ニ於テ設備スヘキ大工人夫ハ左ノ如シ(人夫ハ本文ノ通ニ付茲ニ畧ス)

五 本清潔法ハ斃鼠ノ搜索生鼠ノ捕獲ヲ主タル目的トシ普ク清潔法ヲ行フコト

六 清潔法施行以前三日以上殺鼠劑ヲ配置シ後着手スルコト

七 清潔法施行前臺所流シ先及下水口等鼠ノ出入シ得ヘキ部分ハ適宜ノ方法ヲ以テ壅塞スルコト

八 疊建具什器商品等ハ屋外ニ搬出シ疊ハ日光ニ晒スコト

但シ相當器物中ニ藏置シアルモノハ取出スニ及ハス

九 天井ハ一部ヲ取外シ鼠族ヲ搜索シ塵埃ヲ除去スルコト

十 床板ハ一部ヲ取外ツシ鼠族ヲ搜索シ塵埃ヲ除去スルコト羽目流シ等ハ必要ト認ムル場合之ヲ取外シ鼠族ヲ搜索スルコト

十一 斃鼠ヲ發見シタルトキハ其部分ヲ昇永水若クハ石炭酸水ニテ消毒スルコト

十二 斃鼠捕鼠ハ出所ヲ明記シタル木札ヲ附スルコト

十三 濕潤セル床下不潔ナル便所下水並ニ周圍等特ニ必要ト認メタル場所ハ消毒方法ヲ施行スルコト

十四 清潔法ノ施行ニ依リ蒐集シタル塵埃其他ノ不潔物ハ一定ノ場所ニ運搬焼却スルコト

十五 下水ヲ浚渫セシメ破損シタル部分ハ修理セシムルコト

十六 米穀商、乾物商、芋問屋、菓子製造業、鳥獸商、空俵商、古麻袋商、襪襪、紙屑、古綿商及是等ノ物品ヲ貯藏スル倉庫物置等ニ對シテハ特別ノ注意ヲ以テ以上ノ各項ニ從フヘキハ勿論必ス一部ノ羽目板ヲ取外シ鼠族ノ

第五章 令達通牒

五百五十一

發見ニ努メ鼠穴アリタルトキハ掘鑿シテ鼠ヲ搜索シ濕潤若クハ不潔ナル部分ハ消毒方法ヲ施行スルコト
但シ堅牢ナル倉庫等ニ就テハ適當ナル方法ヲ取ルコト

十七 清潔法ノ執行ハ當該吏員監視ノ下ニ之ヲ行ハシメ必要ナル場合ニ於テハ人夫又ハ大工ヲ使用スルコト

(一〇一) 示令第三十一號

警察署
同分署

東京市深川區ニ於ケル「ベスト」患者ハ本年四月以來殆ント十名ニ垂トシ有菌鼠ハ數十頭續出シテ益々蔓延ノ兆
アルノミナラス已ニ病毒ハ千葉縣下ニ侵入シ一名ノ患者發生セシヤニ聞ケリ依テ當分ノ内東京市深川區内ヨリ
來リ縣内ニ轉住或ハ宿泊滞在スルモノアラハ其健康状態ヲ觀察シ左ノ區域内ヨリ來ルモノニ對シテハ市町村醫
ヲシテ健康診斷ヲ爲サシメタル後其健康状態ニ付充分ノ觀察ヲ遂ケ尙驅鼠ノ獎勵其他豫防ノ方法ヲ講シ防疫上
些ノ遺憾ナキヲ期スヘシ

明治三十八年六月三日

警務長

左記

深川區佐賀町二丁目	松賀町	一色町	小松町
松村町	相川町	黒江町	熊井町
中島町	富吉町	蛤町二丁目	諸町
大嶋町	福住町	大住町	伊澤町
東永代町	西永代町	龜住町	材木町
万年町二丁目	堀川町	永堀町	中川町
越中島町	富田町	富岡門前町	今川町

富岡門前中町	和倉町	富岡門前東中町	平富町二丁目
山本町	佃町	牡丹町	大和町
龜久町	冬木町		

(一〇二) 神奈川縣令第二十七號

東京市深川區内ニ居住シ又ハ同區内ニ宿泊シタルモノニシテ本縣下ニ來リタル者アルトキハ旅客ハ宿舍主ヨリ
其他ハ戶主又ハ之ニ代ハルヘキ者ヨリ十二時間以内ニ所轄警察署警察分署又ハ巡查駐在所若ハ巡查派出所ニ届
出ヘシ

前項區域内ノ河川ヲ發シ若クハ經過シテ横濱港ニ來ル船舶ハ所有者管理者又ハ其代理者ヨリ其碇繋所水上警察
署又ハ其巡查派出所へ届出ヘシ

但シ本項ノ區域間ヲ常ニ往復スル船舶ハ豫メ其船名及乗組人ノ氏名ヲ同様届出爾後異動ノ都度届出ヘシ

前各項ノ人員船舶及之レト直接ノ關係アルモノニ對シテハ明治三十年三月法律第三十六號傳染病豫防法第十九條

ニ據リ同條第一號第四號第五號第六號及第七號ヲ施行スルコトアルヘシ

本令ニ違背シタルモノハ傳染病豫防法ニ明文アルモノヲ除ク外拘留又ハ科料ニ處ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十八年六月五日

知事

参照 (三十八年) 十二月二十六日 縣令第五十五號ヲ於テ廢止ス

(一〇三) 四衛發第二百五十三號

「ベスト」豫防其他時局ニ對スル衛生上ノ注意ニ關シテハ數回訓令ノ次第モ有之候處東京市内ニ於ケル「ベ
スト」ハ益々有毒區域擴大ノ模様有之何時侵襲ヲ見ルモ期シ難ク又弗爾腸胃扶斯等其他ノ傳染病モ點々散發スル

第五章 令達通牒

五百五十一

第五章 令達通牒

五百五十二

ニ付テハ此際市内全部ニ對シテ驅鼠の清潔法ヲ施行セシメラレ候様致度別紙方法書添付依命此段及御照會候也
明治三十八年七月十日

橫濱市長宛

第四部 長

別紙

- 一 本清潔法ハ當該吏員監視ノ下ニ個人又ハ衛生組合ヲ以テ施行セシムルコト
- 二 本清潔法ハ七月二十日ヨリ開始シ八月盡日迄ニ全部終了スル事
- 三 施行區域ハ警察署ノ管轄ニ據リ區分シ更ニ左ノ十七組ニ分チ一組ニ付市吏員二名巡查二名大工二人、人夫四人ヲ以テ組織シ一組一日ノ施行ハ一百戸ヲ以テ標準トスル事但シ各署ヘ配置スル割合左ノ如シ
伊勢佐木町署四組 壽町署四組 戸部署同 山手本町署三組
加賀町署二組 神奈川署二組
- 四 衛生組合ニ於テハ前項ノ大工及人夫ヲ設備シ其費用ノ負擔ニ任スルコト
- 五 施行ノ日割及區域等ハ警察署ニ於テ取極メ當部ヘ報告スルコト
- 六 本清潔法ハ主トシテ居宅、納屋、土藏、倉庫ノ内外ニ對シ斃鼠ノ搜索生鼠ノ捕獲ヲ目的トシ普ク清潔法ヲ行フコト但シ二ヶ月以内ノ新築家屋又ハ平素鼠族ノ驅除ニ注意スル倉庫等ニシテ當該吏員ニ於テ必要ナシト認ムルモノハ此ノ限りニアラス
- 七 斃鼠ヲ發見シタルトキハ其部分ヲ昇汞水又ハ石炭酸水ヲ以テ嚴重消毒スル事
- 八 斃鼠ハ出所ヲ明記シタル木札ヲ付シ直ニ細菌掛ニ送付スルコト但シ乾固シテ檢菌ニ適セサルモノハ此限りニアラス
- 九 清潔法執行前臺所流シ口、及下水吐口等鼠族ノ出入シ得ヘキ部分ハ釘若クハ金網其他適當ノ方法ヲ以テ壅塞シ鼠ノ逃逸ヲ防ク事

- 十 天井及床板ノ一部ヲ取外シ鼠族ノ搜索ヲナシ塵埃ヲ除去スルコト但シ羽目板流シ等ハ注意家屋ヲ除クノ外必要ト認ムル場合ノ外之ヲ取外スニ及ハス
- 十一 疊、建具、什器、商品等ハ全部屋外ニ搬出シ疊及夜具類ハ日光消毒ヲ行フ事
- 十二 濕潤セル床下不潔ナル便所、下水、塵芥函並ニ其周圍等特ニ必要ト認メタル場所ハ消毒方法ヲ施行スルコト
- 十三 本清潔法ノ施行ニ依リ蒐集シタル塵埃ハ直ニ一定ノ場所ニ搬出焼却シ其灰燼ハ市ニ於テ適當ノ措置ヲナス事
- 十四 穀物商、乾物商、麸屋、麵麩屋、麴屋、芋問屋、菓子製造業、鳥獸肉商、空俵商、古麻袋商、襪襦商、紙屑問屋、古綿商、古繩蔴商、及是等ノ物品ヲ貯藏スル倉庫物置并ニ人足部屋、木賃宿、等ニ對シテハ特別ノ注意ヲ以テ以上各項ノ外必ス一部ノ羽目板及流シ板ヲ取外シ鼠族ノ發見ニ努メ鼠穴アルトキハ掘鑿シテ鼠ヲ搜索シ濕潤若クハ不潔ナル部分ニ對シテハ消毒方法ヲ施行スルコト
- 十五 本清潔法施行前衛生組長ヲ市役所ニ召集シ施行ノ主意ヲ口達シ同時ニ施行ノ程度方法并ニ日割書ヲ交付スルコト
- 十六 市役所ニ於テ口達後各衛生組合長及委員ヲ更ニ警察署ニ召集シ口達スルコト

(二〇四)四衛發第二百五十三號
 橫濱全部ニ對スル驅鼠の清潔方法施行ニ關シ別紙ノ通り橫濱市長ヘ照會相成候ニ付市長ト協議シ嚴重施行ノ上其成績日表ヲ以テ御報告相成度依命此段及通牒候也(別紙省畧)

明治三十八年七月十日

衛生課長

市内各警察署長宛(水上署ヲ除ク)

(二〇五)衛防第二百八十五號

第五章 令達通牒

五百五十三

第五章 令達通牒

五百五十四

本月十日付衛發第二百五十三號ヲ以テ驅鼠の清潔法施行ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ハ防疫上尤モ必要ノ事柄ト認メラレ候ニ付テハ施行方法中第二開始期日七月二十日ト有之候モ現在施行中ニ有之候殺鼠劑ノ普及ト準備ノ都合モ有之開始期ハ八月一日ト豫定シ猶ホ夫レ迄ハ鼠族ノ最モ多ク棲息スル部分及業體別ニ對シ殺鼠劑配置ノ見込ニ有之候同方法第三中一組ニ付市吏員二名宛ハ配置上差支候ニ付從前之通り一名トシ同方法中第十五衛生組合長召集ノ件ハ多數ノ不參運刻者有之反テ混雜ヲ來シタル實例モ有之候ニ付各警察署ト協議ヲ遂ケ便宜ノ處置致シ度候條右御回答旁得貴意候也

明治三十八年七月十三日

橫濱市長

第四 部長宛

(一〇六)四衛發第二百五十三號ノ二

本月十日付四衛發第二百五十三號ヲ以テ驅鼠の清潔法施行ニ關シ及御通牒置候處今般橫濱市長ヨリ施行方法中第二ノ七月二十日トアルヲ八月一日トシ第三ノ市吏員二名トアルヲ一名トシ第十五ノ衛生組合長召集ノ件ハ所轄警察署ト協議ノ上便宜ノ處置致度旨照會有之事情止ヲ得サルモノト認メ同意致置候條施行日割其他ノ細目ハ市長ト協議ノ上可然御取計相成度依命此段及通牒候也

明治三十八年七月十七日

衛生課長

市内各警察署長宛 (水上警察署ヲ除ク)

(一〇七)四衛發第三百七十七號

大阪神戸兩市ニ於ケル「ペスト」病流行ノ狀況並ニ之ガ豫防方法等ニ就テハ曩ニ依命及通牒置候ニ付夫々御勵行相成居候事トハ存候へ共驅鼠ノ成績未タ充分ナラス客月盡日迄ノ累計二十五萬四千五百二十五頭ニシテ昨年ノ同日ニ比較シ二千頭以上ノ減少ヲ見殊ニ近來鼠族繁殖ノ傾向アリトハ一般ニ稱スル所ニシテ防疫上頗ル遺憾ノ

次第ニ有之候ニ付此際市内一般ニ普ク殺鼠劑ヲ配置シ驅鼠ノ獎勵ニ努ムルハ最モ緊要ノ事柄ト被存候條至急御執行相成候様致度依命此段及照會候也

明治三十八年十一月二十四日

第四 部長

橫濱市長宛

(一〇八)同 號

殺鼠劑配置ノ件ニ關シ別紙ノ通り橫濱市長へ照會相成候條實施ノ際ハ相當御取締相成度尙輸入貨物ハ積入ル、倉庫又ハ注意營業者ノ家屋ニ對シテハ巡查ヲシテ配置セシメラレ度依命此段及通牒候也

明治三十八年十一月二十四日

衛生課長

市内各警察署長宛 (水上署ヲ除ク)

(別紙ハ前文橫濱市長宛ノ照會ニ付畧ス)

(一〇九)神奈川縣告諭第六號

縣下ニ於ケル「ペスト」患者ハ終熄シテ既ニ二ヶ年餘其發生ヲ見サルモ神戸大阪兩市ニ於テハ本年春季ヨリ該患者及其有鼠菌點々發生シ近來ニ到テハ一層其猛威ヲ逞フシ益々傳播ノ勢ヒアリ

該地方ハ本縣トハ海陸ノ交通頻繁ニシテ加フルニ商業上ノ關係ハ密接比隣ノ如ク從テ病毒輸入ノ機會頗ル多シ若シ不幸ニシテ一朝該病ノ侵襲セハ多クノ生命財產ヲ戕害シ不測ノ災厄ヲ蒙ルニ至ラン豫防ノ事ハ實ニ今日ノ急務ナリ蓋シ防疫ノ事業ハ當局者ノ施設ト箇人衛生思想ノ發達ト相俟ツテ効用ヲ爲スモノニ付此際一層各自ノ攝生ヲ重シシ家宅内外ノ清潔保持ニ努メ且該地方ヨリ輸入スル貨物ニ注意シ特ニ一般鼠族ノ驅除ヲ勵行シ苟クモ該病毒侵襲ノ釁隙ナカラシムル様篤ク注意スヘシ

明治三十八年十一月二十八日

知 事

第五章 令達通牒

五百五十五